

5. 石川・上陳・田原・堂園周辺 (E)

この調査地区は益城町の氾濫平野東側に位置し、周辺を山地、台地に囲まれている。調査は南西側から北東側に向けて実施した。(ただし、時間の制約上、この地域全体の詳細な調査は実施していない。) この地区はほぼ建設年代の古い家屋や納屋が立ち並ぶが、上陳に小学校などもある(調査は未実施)。この地域の特徴は、地表断層が田んぼから河川、住宅敷地内を通過している点である。住宅敷地を取り囲む壁の一部が大きくずれ、道路と用水を經由して隣接する別の住宅敷地内を再度通過している。氾濫平野の北側に位置する田原は急峻な傾斜地形に住宅、家屋があり、そのほとんどは建設年代の古い建物のようである。石組擁壁は著しく崩壊している箇所があり、道路側に崩れている。また建物の多くは、損壊、倒壊、傾斜などがはなはだしい。田原側から堂園を見ると、中規模の斜面崩壊によって土砂と竹林が道路を閉塞しているのが確認できる。

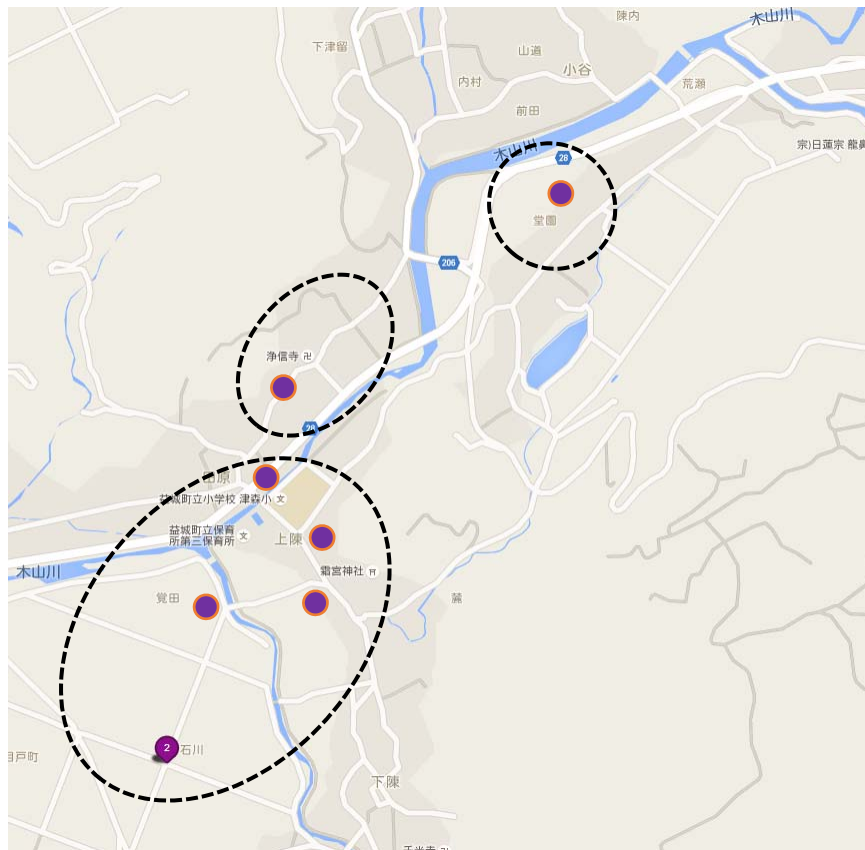


図 地震被害の調査対象地域と写真撮影地点

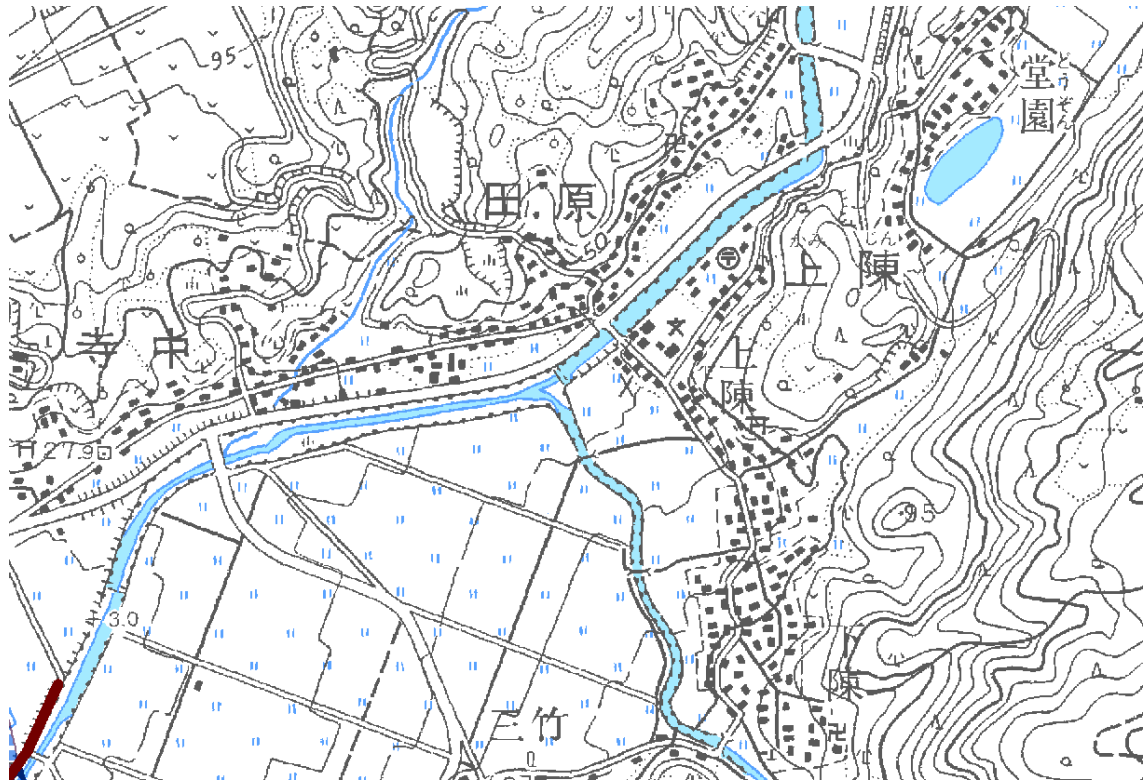


図 調査 E 地区の治水地形分類図（平成 22 年 3 月作成 国土地理院）

・石川、上陳（南西側から北東側へ地表断層に沿って）







・ 田原



・ 堂園（田原側から撮影）



参考：[1] 盛川仁他：2016年熊本地震 調査速報

(<http://quake.enveng.titech.ac.jp/%E7%A0%94%E7%A9%B6/%E5%9C%B0%E9%9C%87%E8%A2%AB%E5%AE%B3%E8%AA%BF%E6%9F%BB/2016%E5%B9%B4%E7%86%8A%E6%9C%AC%E5%9C%B0%E9%9C%87%E3%80%80%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E9%80%9F%E5%A0%B1/>)